

# 結語

- 頸部屈曲位嚥下は、胸部食道癌術後患者に対して有効であるとされる根拠を1)嚥下造影検査2)嚥下内視鏡検査3)嚥下圧検査を用いて明らかにした。
- 嚥下圧を指標に評価すると、頸部屈曲位では通常頸位と比べて、中下咽頭部の圧は上昇し、UES部の弛緩が明確になった。
- 嚥下圧を指標にすることで新たな嚥下障害の病態解明の可能性が示唆された。